

あと205日!

社会福祉士 国家試験の概要と攻略のポイント

2023. 7. 14 担当 荒木 千史

< 1、概要 >

■試験期日 令和6年2月4日(日)⇒3月5日HPに発表(通知は8日から)

■申し込み 9月7日～10月6日

■試験地 九州では、福岡県、熊本県、鹿児島県、沖縄県など

(去年は・・・福岡県 西日本展示場(北九州市)、福岡女学院(福岡市)、熊本県 グラ
ンメッセ熊本(上益城郡)・・・ホテルは受験票が来たら早めに予約を!!

■試験科目 合計150問(1問1点)

(精神保健福祉士と共通科目) 合計83問 午前:2時間15分

- ①人体の構造と機能及び疾病、7問
- ②心理学理論と心理的支援、7問
- ③社会理論と社会システム、7問
- ④現代社会と福祉、10問
- ⑤地域福祉の理論と方法、10問
- ⑥福祉行政と福祉計画、7問
- ⑦社会保障、7問
- ⑧障害者に対する支援と障害者自立支援制度、7問
- ⑨低所得者に対する支援と生活保護制度、7問
- ⑩保健医療サービス、7問
- ⑪権利擁護と成年後見制度、7問

(社会福祉士 専門科目) 合計67問 午後1時間45分

- ①社会調査の基礎、7問
- ②相談援助の基盤と専門職、7問
- ③相談援助の理論と方法、21問
- ④福祉サービスの組織と経営、7問
- ⑤高齢者に対する支援と介護保険制度、10問
- ⑥児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度、7問
- ⑦就労支援サービス、4問 *
- ⑧更生保護制度、4問 *

■合格基準

次の2つの条件を満たしたものを合格者とする。

- 1 問題の総得点の60%程度を基準として、問題の難易度で補正した点数以

15期の受験当日は大雪で交通機関が麻痺しました。前泊をおすすめします。ちなみに、帰れなくなり数日鳥栖泊した方々もいました。
(+_+)

上の得点の者。

2 1 を満たしたもののうち、以下の 18 科目群（ただし、（注意 2）に該当する者にあつては 7 科目群）すべてにおいて得点があつた者。

（注意 2）社会福祉士及び介護福祉士法施行規則第 5 条の 2 の規定による試験科目の一部免除を受けた受験者にあつては、配点は、1 問 1 点の 67 点満点である。

■ 出題形式

5 つの選択肢から「正しいもの（適切なもの）」を 1 つまたは 2 つ選ぶ形式

（第 25 回から 2 つ選ぶ形式が開始された）

「出題形式は五肢択一を基本とする多肢選択形式とし、出題数は 150 問、総試験時間数は 240 分とする。」

⇒ 2 つ選択の時も予告なしだったので、例えば四肢択一、五肢択二もあり得るということです。または間違つたものを・・・等。臨機応変に！

<過去 5 回の分析>

● 約 7 割が「正しいもの」を選択する問題。比較的、各選択肢が○か×かはっきりしている。制度、法律、人名、歴史の問題に多い。

次に、「最も適切なもの」や「適切なもの」が 2～3 割程度。「より適切なもの」が 1～3 問程度。各選択肢が○か×かはっきりしていないことが多い。事例問題や利用者への対応問題などに多い。

● 事例問題が 2 割程度。

● 約 1 割が「2 つ選べ」問題。

■ 最近の傾向

受験生の感想は、毎年、「過去問と違つた～。難しかった！！傾向が変わつていた！」という発言を聞きます。

どういう意味かはよく分かりません。過去問と同じものが出ると思つていたのか？

形式はここ数年変化なしです。

■ 私の印象

まず、事例問題も制度などの知識を問いがちになつたこと。

選択肢の 1 つ 1 つは細かいことを出しているも、簡単な知識をしっかりと覚えていれば、正答そのものを選ぶことができる問題が増えた。正答意外は細かなことを書いてある場合もある。

< 2、攻略のポイント >

合格の3要素は、1 能力、2 テクニック、3 コンディション です。

あなたのウィークポイントにあわせて対策を！！

1、能力とは

○覚えている知識、問題文や選択文を読み解く読解力・適切な回答を導き出す理解力のこと。

すでに、受験生間でこの能力は個人差がある。自分の現在地を見極め、試験までに何をどのくらい（具体的に！！）するべきかを明確に決めること。そして着実に実行することが必須条件。目標を日課に振り分けてみましょう。無計画な勉強は自信につながりません。

例えば・・・。

過去問2回、模擬問2回、模試2回（見直し含む）、一問一答・・・。

⇒ページ数、問数を日にちに振る。

本当に実行可能なのか？ → 無理そうなら計画修正！！（潔さも大事！！）

無得点科目をつくれないので
不得意科目は要注意！！

例えば・・・

模擬問1回と模試2回分の綿密な復習とワークブックへの一元化など

○理解を高めるには

高校福祉レベルをベースとして理解しているか？ **Ex**・・・

実際に試験で問われるのは、高校福祉レベルではないが、ベースが入っていないと知識が浮遊し定着しにくい。

自分がどこを勉強しているか分かるように、大枠をつかんでから詳細を。（目次や章立て、ワークブックの見直し、出題基準を使うとよい。）

2、テクニック

①時間配分

共通：1問1分38秒、専門：1問1分34秒は単純割。見直し、マークミスチェックの時間を含め、当日の試験時間を自分仕様に割り振って（理想）おく。

割り振りのポイント：

1：選択文が短文の科目と長文が多い科目がある。

模試の時から
実験しておこう！

2：苦手な科目は時間がかかる。

3：自分が見直しに欲しい時間

4：チェックポイントで修正

(Ex「地域福祉」の科目が終った時に11時を大幅に過ぎていたら、
スピードアップしよう！！などなど)

5：学習時から、1問1分半弱を意識して解く。

(知識は確実に覚えておく。曖昧な記憶を辿っているうちに時間は過ぎていく。)

②解き方 ～ミスを防ぐ対策～

1：問題文をしっかり読む。(いきなり選択肢を読まない)

■「危機介入アプローチに関する」「相互援助システムとなるように」など、正解への手がかりが問題文に書かれている場合が多い。(事例なども)

■二つ選ぶのか一つ選ぶのか？しっかり確認！！

2：できるかぎり問題は飛ばさない。

(即決も大事。今分からない問題が20分後なら解けるといいう根拠は?)

マークがずれたら大変なことに。どうしても飛ばすならば、とりあえず薄くでも何か塗っておくとよい。

3：問題用紙に、書き込みながら解く。

問題用紙は持ち帰れるので、ネット情報等で自己採点が可能。自己採点のためにも自分の選んだ回答し印をつける。しかし、自己採点のためだけではなく、マークをつけながら解くのがよい解き方。何を迷っていたのか、時間が余って見直しするときも、無駄がない。日頃から行うべき方法。(不合格者の問題用紙ほど、何も書かれていません。)

絶対に建う!! と自信のあるもの。後で見直す時は、②③⑤だけぞ
よい。

127

要介護認定に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

時間短縮!

X 認定調査に使用する認定調査票の「基本調査」の調査項目は、身体機能・起居動作、生活機能、認知機能、精神・行動障害のX群から構成されている。

2 二次判定では、一次判定を基礎として、主治医の意見書や特記事項に基づき、どの区分に該当するかの審査・判定が行われる。○? 特に内起ないよーな?

3 二次判定では、一次判定よりも要介護度を下げてはならない。△ ← 自信がないけど違うか?

X 第1号被保険者の認定に当たっては、要介護状態などの原因である障害が特定疾病に起因するものであるかを確認する上で、主治医の意見書が必要となる。

△ 5 認定結果に対して不服がある場合は、認定調査を行った市町村の介護認定審査会に対して申立てを行う。

Point 総合的に判断 → X

都道府県だったかな...? ウーン??

要介護認定システムについて問う問題である。一次判定、二次判定の流れや、具体的な仕組みについて、基本的な知識を問う設問となっている。

高齢者に対する支援 介護保険制度

社会福祉士になるためには、という観点からは、職務上申し上げにくいですが、年が明けてからの時間の使い方において、捨てる（⇒選ぶ）という選択も必要な場合がある。

例えば・・・。（口頭で言います！（笑））

④問題の形を理解する。（作成者の気持ちになって勉強しよう！）

基本的に、一問一答式問題の正しい文章を並べた後、○にする文章はそのままだ。

×にする文章は、A「一部の語句を入れ替える（固有名詞、実施主体、数字、義務・任意など）」あるいはB「問題の文章をイジる（肯定・否定「である・ではない」、限定・断定表現（のみ・いかなる場合も）、強調表現、NGワード（利用者軽視など）」というパターンで作成されています。

よって、全て選択肢の間違い探しをしていくスタンスで解きましょう。

どう頑張って探しても間違いが見つからない選択肢が、正答になります。

<<文章の表現に関する傾向>>

○・・・肯定的なイメージ：曖昧な表現：利用者に配慮している：ストレングスの視点
チームアプローチ的：関係機関と「連携」

例)「～に配慮する」「～を検討する」「～は大切である」「～の1つである」
「～などがある」「～を提案する」「～を観察する」（緊急の場合は×）
「利用者の同意を得て」

×・・・否定的なイメージ：過剰：断定・限定的表現：利用者軽視社会福祉士独断
：丸投げ：たらい回し的

例)「～できない」「～を排除する」「～の必要はない」「～のみである」
「いかなる場合も」「常に」「必ず」「説得する」「社会福祉士のみ判断で」
「利用者を訂正する」「ゆだねる」⇒人任せ？もダメ。指示、説得×
拙速な判断で決めつけて動くのも×。
利用者の意向やニーズを大切に！！

⑤出やすいものを重点的に学習する。

限られた時間しかないので、複数の科目に出てくるもの（Ex 例えば、社会保障にも低所得者にも現代社会と福祉にも出る！低所得者にも就労支援にも出る。というように）、過去問でよく出題されているものから手をつける。

3、コンディション

①メンタル

■不安要素を取り除く（せめて減らす準備）

Ex 緊張するとお腹こわす？ トイレが近い？ 緊張する？頭痛が・・・。

⇒それぞれの対処法……。準備をすればするほど、心が落ち着く。

■根拠のない自信は湧いてこない。「これだけやったんだ！！」といえる根拠を作っておく。

②フィジカル

■朝から試験問題が解けるクリアな頭脳作り

⇒2週間前から試験当日に合わせた朝型の日課を心がける。朝から解く！解く！解く！

そんな日を出来る限り設けましょう。

■長時間、集中力を保てる？頭の体力作り

⇒走ったこともない距離を初めて大会で走るマラソン選手はいません。

日頃は、もっと長い距離を訓練しているはず。

だとすれば……。試験当日は、試験前、共通科目、休み時間、専門科目と、合計6時間以上、学習内容について考えまくる一日。休みの日を活用して、一日10時間くらい勉強する日を体験しておきましょう。

Web 講座テキストより（心理学 須田先生の頁）

「力及ばずして倒れることは辞さないが、力尽くさずして挫けることを拒否する。」

最後の1日まで、試験の直前まで、あきらめないこと！！

この時期、「〇点しか取れないです、〇割しか取れないです。」と悩んでいる人がかなりいます。私は現役当時、時間がなかったので、分かる、解ける問題に使う時間は勿体ない！と思い、解けない、知らない問題が出てくることに時間を使う意義を感じていました。

これからの時間、知らないことを知る、見てない問題を見ることを喜びとして時間を過ごしてください。